

再 評 価 書

箇所名	野又越線	事業名	林道事業	課 名	農林水産部 治山林道課														
事業概要	工 期 (下段前回)	平成3年～31年	全体事業費 (下段前回)	6,560百万円(負担率:国 50: 県 50)															
		平成3年～30年		6,560百万円(負担率:国 50: 県 50)															
事業目的及び内容																			
<p>(1) 所在地 紀北町大字十須字江竜地内の国道422号を起点とし、大台町大字桧原字野又谷の国道422号を終点とします。</p> <p>(2) 事業の目的 紀北町、大台町両町の基幹的な林道として地域の森林整備を促進します。併せて、古くから文化的な交流があった両地区を連絡する生活道として、海と山の資源を活かした交流を通じた地域活動を促進し、両地域の振興を図ることを目的とします。</p> <p>(3) 全体計画 ① 全体延長 : 15,621m [うちトンネル840m] ② 全幅員 : 5.0m ③ 全体事業費 : 6,560,000千円(420千円/m) [うちトンネル2,100,000千円] ④ 事業予定期間 : 平成3年度～平成31年度(29年間)</p> <p>(4) 利用区域の森林資源の状況 利用区域面積は1,381ha、民有林は1,115ha、そのうち人工林870haで、民有林の人工林率は78%です。国有林が267haあり、そのうち29haが人工林で国有林の人工林率は11%です。人工林の85%が11～60年生の間伐対象年齢で、7%がそれ以下の下刈り、除伐等の手入れが必要な森林です。</p>																			
事業主体の再評価結果																			
<p>1 再評価を行った理由 平成20年に三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。再評価実施後5年を経過しましたので同要綱に基づき再評価を行いました。</p>																			
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>(1) 事業着手 平成3年度全体計画調査実施、平成4年度より5工区で着工、現在は3工区で実施中。</p> <p>(2) 進捗状況(平成24年度末の事業量) ① 完成延長 : 12,709m(進捗率:81%) ② 事業費 : 3,821,885千円(進捗率:58%)</p> <p>(3) 課題 平成23年災害の影響で遅れが生じたため、事業期間を延ばさざるを得ず、完成が平成31年度となります。</p> <p>(4) 利用区域内の森林整備状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th colspan="2">H 25 調 査 時 点</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>整備面積</th> <th>うち間伐</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H15～19</td> <td style="text-align: center;">372 ha</td> <td style="text-align: center;">289 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H20～24</td> <td style="text-align: center;">220 ha</td> <td style="text-align: center;">207 ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						期 間	H 25 調 査 時 点		備 考	整備面積	うち間伐	H15～19	372 ha	289 ha		H20～24	220 ha	207 ha	
期 間	H 25 調 査 時 点		備 考																
	整備面積	うち間伐																	
H15～19	372 ha	289 ha																	
H20～24	220 ha	207 ha																	

3 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(1) 周辺環境の変化

- ① 大台町では、平成24年度に第1次大台町総合計画後期基本計画を樹立し、「木材生産推進のための基盤整備」、「素材生産、加工、販売まで木材の一体的流通体制の構築」、「木材利用の普及啓発」、「特用林産物の生産など複合経営の検討」、「林業経営に対する社会的意識の高揚」、「森林立地評価を導入した森林経営の推進」を施策とし、森林、林業振興に取り組んでいます。
- ② 紀北町では、平成24年3月に紀北町第1次総合計画後期基本計画を樹立し、「森林施業の効率化の推進」、「計画的な間伐、保育の促進」、「林業集約化など経営合理化の推進」、「新規就労者の確保の推進」、「地元材の普及の推進」などを施策とし、林業の振興に取り組んでいます。
- ③ 平成23年9月の紀伊半島大水害により、大台町、紀北町ともに甚大な被害を受けました。また、近年の災害の発生によって、保水力や土砂の流出防止機能等の森林の働きの重要性が認識され、「災害に強い森林づくりを進める必要が生じています。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

費用対効果は、1.24となっています。

	今 回
B(便益)	10,624,600 千円
C(費用)	8,594,552 千円
B/C	1.24

4-2 その他の効果

仙千代ヶ峰登山をはじめとする森林レクリエーション等の利用にも寄与します。

4-3 地元意向

- (1) 大台町では、主要な産業である林業の振興と、森林の適正な管理を推進するため、また紀北町では、尾鷲ヒノキの産地であり林業振興が重要な課題であることや、豊かな水産資源の背景となっている森林に対する住民の関心が高く、森林の適正な管理が求められており、両町の連絡路としての役割も期待されることから、事業の継続を望んでいます。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

地形にあった波形線形の採用や、路肩の縮減、またコンクリート擁壁に替えて補強土壁工を積極的に活用し、土工量及び法面保護工を削減しコスト縮減を図ります。

5-2 代替案

当路線の利用区域内の森林整備を図り、両町を連絡する必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

《平成20年委員会意見》

事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

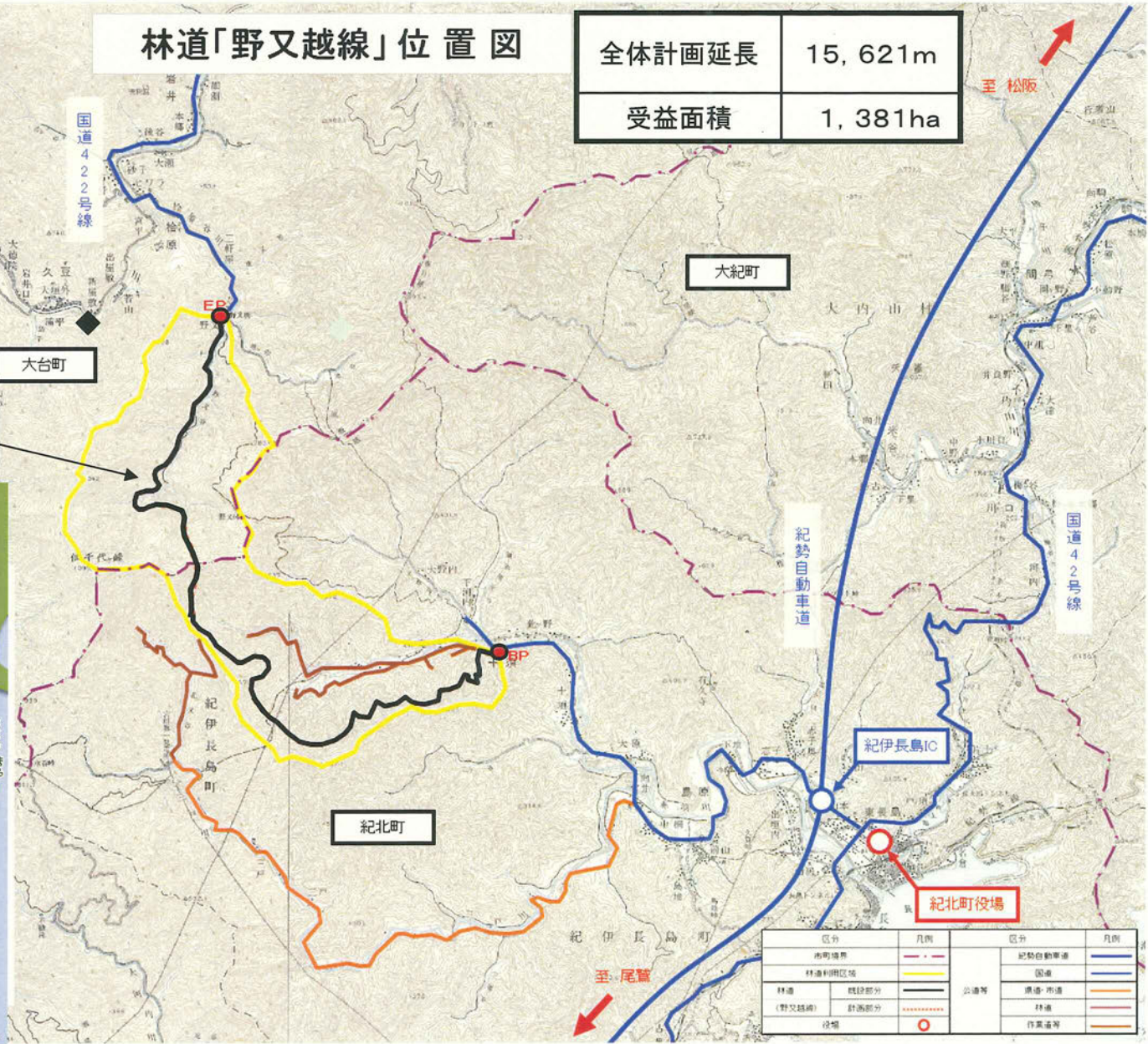
三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、コスト縮減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し、事業を継続いたしたい。

林道「野又越線」位置図

全体計画延長	15,621m
受益面積	1,381ha

N
縮尺: 1:50,000

林道野又越線



区分	凡例	区分	凡例
市町境界	---	紀勢自動車道	——
林道利用区域	——	国道	——
林道	——	県道・市道	——
林道 (野又越線)	——	林道	——
役場	○	作業道等	——